



**HOANG VAN TIEN (ホアン ヴァン ティエン) さん**

出身国：ベトナム

出身大学：中央情報専門学校

専攻：情報システム学科

内定先：バンダイ株式会社

#### □日本に留学した動機

私が日本に留学した理由は、日本が、アジアの中で一番経済が発展している国であることはもちろんですが、日本の文化や気候がベトナムと似ていることもありました。意外に思われるかもしれませんが、食文化で言えば、同じお箸ユーザーですし、食べ物の味付けは、日本の醤油に似た「ヌクトゥ」というベトナム版の醤油です。また、私の出身はベトナムといっても北の方なので、日本同様四季がある点も似ています。

#### □日本で就職する理由

せっかく日本に留学し、専門知識を学んだので、日本で就職し、学んだ知識を活かしながら、もっと技術や経験を積みたいと思いました。もちろん、給与面で日本の方がいいということもありますが…。(笑)

#### □現在の就職先の選択理由

私が選択したというより、たまたま選んでもらったということが正直なところ。正直言って、私は活発に就職活動をしていたわけではありませんでした。日本の就職活動についてよく知らなかったので、したくても出来なかったというべきかもしれません。せいぜい学校で開催された会社説明会に参加して、2～3社エントリーした程度です。面接した会社も1社ありましたが、当時は今よりも日本語が下手なうえに、緊張して頭が真っ白になってしまい、うまくできませんでした。そんなとき、たまたまGGSから電話があり、「ベトナム人留学生を採用したい会社がある」と紹介されたのが、内定した会社です。

#### □企業への自己PR、アピールポイント

「まじめで素直な人柄」

#### □就職活動開始時期と応募企業数

去年(2014年)の4月ぐらいから始めました。

- ・エントリー 4社、
- ・面接 2社

#### □具体的な就職活動内容

前述したように、あまり活発に就活していたわけではありません。学校で催された会社説明会に参加することから始めました。就活に慣れる前に幸運にも内定してしまいました。(笑)

#### □GGSが役に立ったこと、または心に残るアドバイス

ある日、学校で表のようなものが配られ、記入するように指示されたので、言われるままに記入して提出しました。後から知ったのですが、実はそれがGGSの求職登録票だったのです。(笑) しばらくしたら、GGSから電話がかかってきましたが、そんな訳で最初は何で自分にかかってきたのかよくわかりませんでした。(笑) 訳の分からないまま



GGSに行って会社の説明を受けました。ベトナムに400名規模の工場があり、本社側の窓口としてベトナム人留学生の採用を希望しているとのことでした。筆記試験はなく面接だけということで、面接の心得を教わりました。それが良かったのだと思います。

#### □事前準備、企業研究

事前にしたことは、企業のHPなどで事業内容や製品、サービスについて勉強しました。それぐらいです。

#### □エントリーシート、履歴書

私は、日本語があまりうまくなかったので、自分で書いたものを友達や先生に見てもらいチェックしてもらいました。

#### □面接での注意点

どこでも聞かれる基本的な質問については、自分なりの回答を準備しておきました。あとは、GGSで助言されたことですが、聞かれたことにはハキハキと明るく大きな声で、相手を見て答えるということだと思います。

#### □抱負と将来設計

自分はまだ若いので、日本で一生懸命仕事をして、日本語ももっとうまくなり、技術や経験を積んだ後に、ベトナム工場のマネージャーになりたいと思います。

#### □後輩へのアドバイス

私の場合、あまり偉そうなことは言えませんが、とにかくGGSに登録しておく事です。

#### □GGSから一言

HOANGさんは、確かにラッキーな一面もありました。しかし、実はHONGさん自身が幸運を引き寄せていました。というのは、GGSがHOANGに会社を紹介した後、すぐに学校の就職支援担当の先生から電話がかかってきたのです。内容は、HONGさんが在籍するベトナム人留学生の中で一番素直でまじめな学生なので、学校としても推薦した

い学生だということでした。GGSとしても学校側がそこまで推す学生なら間違いないと考え、自信をもって会社側に勧め、内定させることができました。結局は、HONGさん自身が学校やGGSを動かし、幸運を引き寄せたのだと思います。

HOANG VAN TIENさん就職内定、本当におめでとうございます！